恩師赤川先生の想い出

M④　児島　康夫

赤川先生が本格的に気液 2 相流の研究を開始されて間もない昭和 30 年に、西代学舎の焼け残った実験室内に設置された 2 相流実験設備は、やっと見つけた中古の空気圧縮機、貴重な予算を使って購入された給水ポンプ、設備の中心となる試験用鋼管、管内の流動状況を目視するためのガラス管、試験用鋼管の傾斜角度を可変にするためのゴムホースなどで構成され、自動記録計は一つも無く、オリフィス、ノズル、圧力計、U 字管、カメラのみの計測装置が使用されておりました。

この安価でシンプルながら素晴らしい実験設備を使って、卒業を翌春に控えた私達は、先生のご指導の下に多くの実験を行いました。ご承知の通り先生は穏やかで粘り強い方でしたので、出来の悪い学生達を根気よく指導して下さったお蔭で、我々学生は楽しく研究を進め、無事に卒業式を迎えられたことを感謝すると同時に、この実験結果が先生の学位取得に多少ともお役に立ったものと喜んでおります。

卒業後、三井造船(株)に勤めボイラ、タービンなどの設計を担当した私は、循環流動層ボイラの固気 2 相流の問題をはじめ多くのテーマについて先生のご指導を仰ぐと共に、ご一緒にゴルフを楽しませて頂き、あわやホール・イン・ワンかというケースにも遭遇したことを楽しく思い出します。

実に 40 年を越える長期に亘ってご指導を頂いた次第であり、この幸運に感謝すると同時に、先生の安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

（ 終 ）

追悼文受付日：平成 28 年（2016 年）3 月 10 日　赤川先生－12